消化器内科

主任部長 岡田 光生

【当科の紹介】

榮枝弘司部長、青野礼部長、岡田光生主任部長、北岡真由子科長、梅下仁科長、大川良洋科長ほか医員 2 名、専攻医 2 名、非常勤医 4 名の総勢 14 名で診療を行っている。肝疾患、胆膵疾患、消化管疾患それぞれの領域や IBD を専門とする医師が診療を行い、消化器疾患全域を満遍なく、かつ専門性高く診療をしている。検査、治療手技としては ESD、ERCP、interventional EUS、小腸内視鏡検査、RFA、EIS などあらゆる検査、治療手技を行っている。また、消化管出血や胆道感染症などの救急疾患も数多く診療している。

【施設認定】

日本消化器病学会専門医制度認定施設

日本消化器内視鏡学会指導施設

日本肝臓学会認定施設

日本消化管学会指導施設

日本門脈圧亢進症学会技術暫定教育施設

【人事】

- 佐竹朋美医員は 2024 年 4 月で退職。
- 山本翔太医員は 2024 年 3 月で当院での 1 年間の研修を終了し、4 月より高知大学医学部第一内科へ復帰。
- 村川和也医員は 2024 年 4 月より、内科専攻医の院外研修として愛媛県立中央病院へ 1 年の出向。
- 江口直輝医員は 2024 年 4 月より、専攻医として勤務開始。
- 柴田真友子医員は 2024 年 4 月より、内科専攻医の院外研修として、大阪南医療センターより 1 年間の予定で勤務開始。

大変喜ばしいことだが、医局員の結婚、妊娠、出産が相次ぎ、2024 年は 3 名が産休、育休に入りマンパワー不足となり大変忙しかった。

【診療実績】

内視鏡件数は前年同様 6900 件余りであった。

ERCP の件数は非常に多く、中四国でも 5 指に入る。

内視鏡検査、治療

総数 6924 件

上部内視鏡検査 3567 件（治療内視鏡 448 件）

下部消化管内視鏡検査 2159 件（治療内視鏡 625 件）
小腸内視鏡検査 59 件（カプセル内視鏡 20 件、バルーン内視鏡 39 件）
ERCP 783 件（DBE 併用 14 件、EUS 併用 11 件）
胆膵 EUS 357 件（FNA19 件、interventional EUS 4 件）
ESD 85 件（食道 12 件、胃 50 件、大腸 23 件）、LECS 1 件
EMR/Polypectomy 552 件（食道 10 件、胃 20 件、十二指腸 17 件、大腸 505 件）
止血術 209 件（上部 147 件、下部 62 件）
EIS 17 件、EVL 37 件

肝臓

肝腫瘍生検 10 件
通常肝生検 23 件
RFA 30 件、PEIT 3 例
TACE 43 件（2023 年）
化学療法 32 例（複合免疫療法 22 例、分子標的薬 10 例）

入院患者数 2078 人（2023 年）

【学術活動】

本年も研究会、学会において多数の演題を発表し、優秀演題賞も 3 演題で受賞した。
また、論文掲載を 3 編（学会和文誌 2 編、英文誌 1 件）行った。

【2024 年を振り返って、雑感】

人員が大幅に減少（4 人減少）する一方で診療数は昨年と変わらず、余裕がなく大変忙しい 1 年間であった。長年かけて築き上げた信頼関係を基盤とした、医局員が献身的にカバーし合うチームワークの良さで何とか乗り切ることができた。このような多忙な中でも、新たに学会指導医（消化器病学会 2 名、消化器内視鏡学会 5 名）、学会評議員（消化器病学会 3 名、消化器内視鏡学会 4 名）の資格を複数名が取得したことは、目に見える新たな前進であり、大変喜ばしく思う。

2025 年、2026 年と少しずつ医局員が増える見込みで、また、産休育休明けの医局員も復帰予定であり、それを楽しみに耐え抜く、そんな 1 年であった。

【今後の展望】

現在、診療数、診療内容ともに県下の基幹病院として十分な役割を果たしているが、今後もより一層診療数を増やし、診療内容の充実を行うことを目標としている。そのために以下のことを予定している。

1. 病診連携の強化
2. 医局員のキャリアアップ

地域講演会や病院訪問などの広報活動を実施しており、今後も継続していく。

また、科長、医員に対しては学会での発表にとどまらず、論文投稿、学会評議員や指導医資格の取得を促す。

次のステップとして、学会総会での主題演題や原著論文の発表を目指す。

院内においては消化器内科にとどまらず、内科全体や病院全体を考慮した働き方を求め、未来の近森病院を支える人材育成を行う。

【学会発表・論文】

学会発表

演題名	発表者 共同演者	学会名	開催日時
大腸憩室出血に対するクリップ直達法施行後再出血に EBLを追加し止血が得られた症例	北岡真由子 岡田光生	第 20 回日本消化管学会総会	2 月 9-10 日 沖縄
2 型糖尿病に黄疸を伴う Glycogenic hepatopathy を合併した 1 例	秦剛志 榮枝弘司、浅羽宏一、坂西誠秀	日本内科学会ことはじめ 2024	4 月 13 日 東京
肝細胞癌破裂術後の多発再発に Atezo/Bev 不応でレンパチニブ少量観血投与が奏功している高齢者の 1 例	山本真梨子、 町田彩佳、佐竹朋美、北岡真由子、 青野礼、榮枝弘司、岡田光生	第 121 回日本消化器病学会 四国支部例会	6 月 8-9 日 徳島
内視鏡的に整復し得た移動盲腸により腸重積を来した成人症例	竹森菜咲 青野礼、岡田光生、北岡真由子、 梅下仁、大川良洋、矢野慶太郎、 山本萌夢、前田真佐、町田彩佳、 吉田莉奈、徳重美香、齊藤純子、 榮枝弘司	第 132 回日本消化器内視鏡 学会四国支部例会	6 月 8 日 徳島
成人トキソカラ症と肝蛭症の 2 例	江口直輝、 榮枝弘司、町田彩佳、佐竹朋美、 北岡真由子、青野礼、岡田光生	第 60 回日本肝臓学会総会	6 月 13-4 日 熊本
副脾茎捻転が原因と考えられた腹腔内出血の 1 例	秦剛志、 矢野慶太郎、青野礼、榮枝弘司、 岡田光生、細田幸司	第 130 回日本内科学会四国 地方会 (研修医奨励賞・ 指導医賞)	6 月 16 日 徳島
異所性静脈瘤出血に対して内視鏡的硬化療法および IVR 治療を併用した症例の検討	榮枝弘司、 町田彩佳、江口直輝、柴田真友子、 矢野慶太郎、梅下仁、大川良洋、 北岡真由子、青野礼、岡田光生、 細田幸司、清水和人、 宮崎延裕	第 31 回日本門脈圧亢進症 学会総会	9 月 26-27 日 高知
発症後 4 年経過した JAK2 遺伝子変異を伴う本態性血小板血症による門脈・上腸管静脈血栓症の 1 例	佐々木康介 榮枝弘司	第 31 回日本門脈圧亢進症 学会総会	9 月 26-27 日 高知
当院における腸管スピロヘータ症 30 例の検討	柴田真友子 山本萌夢、吉田莉奈、前田真佐、 矢野慶太郎、大川良洋、梅下仁、 佐竹朋美、齊藤純子、徳重美香、 北岡真由子、青野礼、榮枝弘司、 岡田光生	第 66 回日本消化器病学会 総会 JDDW2024	10 月 31 -11 月 2 日 神戸

当院で経験した膵十二指腸アーケード動脈瘤を合併した正中弓状靭帯圧迫症候群の検討	町田彩佳 榮枝弘司、山本萌夢、大川良洋、梅下仁、北岡真由子、青野礼、岡田光生、坪井香保里、塚田暁	第 66 回日本消化器病学会 総会 JDDW2024	10 月 11 11 月 2 日 神戸
早期胃癌 ESD 後の長期予後についての検討	北岡真由子 岡田光生、矢野慶太郎、梅下仁、吉田莉奈、大川良洋、青野礼、榮枝弘司	第 108 回日本消化器内視鏡学会総会 JDDW2024	10 月 31-11 月 2 日 神戸
ケトアシドーシスをきたした 2 型糖尿病に Glycogenic hepatopathy を合併した 1 例	柴田真友子 榮枝弘司、北岡真由子、青野礼、岡田光生、浅羽宏一、坂西誠秀	第 122 回日本消化器病学会 四国支部例会 (専攻医奨励賞受賞)	11 月 30-12 月 1 日 松山
schirrhous 胃癌の診断に NBI 併用拡大観察が有用と思われた症例	大東雄太 岡田光生、青野礼、北岡真由子、梅下仁、大川良洋、矢野慶太郎、山本萌夢、前田真佐、町田彩佳、吉田莉奈、徳重美香、齊藤純子、榮枝弘司	第 133 回日本消化器内視鏡学会四国支部例会 (優秀演題賞受賞)	11 月 30-12 月 1 日 松山
抗甲状腺薬プロピルチオウラシルが原因と考えられた急性肝不全の 1 例	岡本大輝 榮枝弘司、北岡真由子、青野礼、岡田光生、	第 122 回日本消化器病学会 四国支部例会	11 月 30-12 月 1 日 松山
肝悪性リンパ腫破裂により腹腔内出血をきたした 1 例	江口直輝 榮枝弘司、町田彩佳、前田真佐、北岡真由子、青野礼、岡田光生、砥谷和人、上村由樹	第 45 回日本肝臓病学会東 部肝	12 月 6-7 日 仙台
内服 2 年後に肝萎縮をきたしたアミオダロンによる薬物性肝障害の 1 例	八木啓 榮枝弘司、江口直輝、町田彩佳、前田真佐、北岡真由子、青野礼、岡田光生	第 45 回日本肝臓病学会東 部肝	12 月 6-7 日 仙台
膵頭部動脈瘤を合併した正中弓状靭帯圧迫症候群に対し動脈塞栓術および腹腔鏡下靭帯切除術を施行した 1 例	岩本啓寛 榮枝弘司、北岡真由子、青野礼、岡田光生、細田幸司、小松優香、坪井香保里	第 131 回日本内科学会四国 地方会	12 月 15 日 松山

研究会発表

演 題	発表者 共同演者	研究会名	開催日時
レクチャー：MASLD について、症例呈示：黄疸症例	榮枝弘司	第 236 回高知肝疾患症例検討会	1 月 15 日 高知
黄疸を伴う Glycogenic hepatopathy	榮枝弘司	香川 LIVER フォーラム	3 月 2 日 高松
同一肝腫瘍内に肝限局性結節過形成と β -catenin 活性化を伴う炎症性幹細胞腫の併存が疑われる 1 例	榮枝弘司	第 6 回中四国肝疾患病理セミナー	3 月 2 日 高松
当院でのクローン病におけるダブルバルーン内視鏡診療	矢野慶太郎	Skyrizi internet live seminar in Kochi	4 月 17 日 高知
レクチャー：複合免疫療法不応後の Lenvatinib について	榮枝弘司	第 238 回高知肝疾患症例検討会	7 月 16 日 高知

C型肝炎と脂肪性肝疾患のこれまでとこれから～肝癌死を防ぐために	榮枝弘司	土佐長岡郡・香美郡医師会 学術講演会	7月24日 高知
便秘症と他疾患へ及ぼす影響 ～当院における取り組み	北岡真由子	ヴィアトリス慢性便秘症 Webセミナー	9月10日 全国
消化器内視鏡検査・治療の up to date	岡田光生	第295回高知市医師会生涯 教育カンファレンス	11月22日 高知

論文発表

タイトル	著者 共同執筆者	掲載誌 出版社	
ESDにて切除し得た食道壁内偽憩室症を合併した食道顆粒細胞腫の1例	岡田光生 北岡真由子、榮枝弘司、青野礼、 佐竹朋美、大川良洋、梅下仁、矢 野慶太郎、田島萌夢、中島絢子	gastroenterological endoscopy、	第66巻、 第1号、 2024
成人 Still 病に対するトシリズマブ投与後に薬物性肝障害をきたした1例	佐竹朋美 榮枝弘司、村川和也、町田彩佳、 北岡真由子、岡田光生、青野礼、 円山英昭、常山幸一	肝臓、	第65巻、 第8号、 2024
Hepatic tumor rupture in other iatrogenic immunodeficiency associated lymphoproliferative disorders of B-cell type in a patient with chronic rheumatoid arthritis	○ Kazuto ogitani、Yoshiki uemura、Hiroshi sakaeda	cureus	6(3):e56615 . 2024